

【単独発生の場合】

1. 問診

- 何を食べていたか？→生もの・古くなった食べ物・汚れた食べ物.
- 発熱を伴っているか？
- 集団で発生していないか？
- 便の性状は白くないか？

2. チェック事項

- 食事の環境をチェック（調理・配布・食器）.
- 手洗い・洗面・歯磨き・便所の衛生環境をチェック.
- ノロウイルス，ロタウイルスを疑いチェック.

3. 対策

- 手洗いの励行，トイレ環境の改善，衛生状況への啓発.
- 制吐薬，胃薬，整腸薬，下痢止め，スポーツドリンク，点滴治療など.



POINT 寒くても暑くても食中毒は発生します。春や秋も好発時期です。

5 アトピー性皮膚炎

避難所では，入浴や着替えができない，外用薬を喪失した，もってこられなかった，使い切ってしまったなどが原因で，肌のコンディションが保てなくなり，アトピー性皮

膚炎が悪化する。

【対応】

- 皮膚の状態が悪化している人がいないかどうか声をかける。
- そのときには出現していなくても、時間経過とともに発症する可能性があるので、注意する。
- ふだんの状態や診断名、治療状況を把握する。
- 着替えや清拭、入浴などが可能かどうか手配する。
- 手に入らなければ、支援が必要な内容の一つとして、外部に援助してもらう。



POINT 必要物品をそろえる

- 日用品：刺激の少ない石けん／シャンプー／タオル／着替え／濡れティッシュなど
- 外用薬（ステロイド入りの軟膏・消炎薬）／抗ヒスタミン薬／抗炎症薬など

6 インフルエンザ

インフルエンザは感染力が強いので、人が密集して長い時間を過ごし、環境が良くない避難所では感染が始まると拡がりやすくなる。通常の消炎鎮痛薬は、効き目が少ないので、タミフル[®]などの抗インフルエンザ薬や点滴静注などで治療する。